

# 令和4年度 議会事務局組織目標

<b>組織名</b>	議会事務局	<b>局長</b>	塚原 進
<b>組織の目的・方向性</b>	議事機関であり、意思決定機関である市議会がその役割と責務を果たし、市民に信頼され、市民に開かれた議会を実現することにより、市民福祉の向上や市勢の発展に繋がるよう、議会活動を補佐することが議会事務局の役割です。そのために、事務局職員は専門知識の習得やノウハウの蓄積と共有に努め、事務局機能の強化を図ります。		

## 議会事務局組織目標

事務局では、議会基本条例に定めた目的の実現に向け、議会運営を適正かつ円滑に進めることはもとより、「不断の議会改革」や、「市民に信頼され、市民に開かれた議会」の実現に向けた取り組みが着実に推進されるよう、議会活動を支援します。

とりわけ、今年度は全国市議会議長会指定都市協議会の会長都市としての役割をはじめ、タブレット端末を活用した会議システムの導入、議員提案による「新潟市犯罪被害者等支援条例」の制定などが着実に進むよう、支援に努めます。

そのために必要となる事務局職員の資質向上に向け、法令や議会慣行などの専門知識の修得や、OJTを通じたノウハウの共有など、研修機会の充実に努めるとともに、事務局内の横の連携と意識の共有を図り、風通しのいい職場づくりに取り組み、業務上のリスク管理と事務の適正な執行に努めます。

### 重点目標

- 1 議会活動の適正かつ円滑な運営
- 2 議会の政策形成機能等の充実及び議会改革の推進
- 3 市民に信頼され、市民に開かれた議会の実現に向けた取組
- 4 事務局職員の資質の向上

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

## 評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
<b>取組結果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の状況変化に適切に対応し、円滑な議会運営に努めるとともに、議員定数の見直しや議員提案条例の制定、議会のICT化に向けたタブレット端末の導入など、議会の権能強化に向けた各種の取り組みを着実に進めました。</li> <li>・「議会報告会」や中学・高校での「主権者教育推進プログラム」の実施など、市民に開かれた議会の実現に向けた、様々な取り組みを支援しました。</li> <li>・議会活動を下支えする事務局職員の資質向上に向け、専門研修への積極的な参加や、OJT等を通じたノウハウの共有に努めるとともに、事務局内の連携と意識の共有化を図り、組織の一体感の醸成を図りました。</li> </ul>				

今後の方向性

- ・令和5年度は4年に一度の改選期に当たり、議員構成をはじめ、様々な変化が生じる年となります。新体制の議会活動が円滑にスタートできるよう、各種準備を適確に進めます。
- ・議会のICT化の推進をはじめとした不断の議会改革、市民に開かれた議会の実現に向け、事務局一丸となって議会活動を支援します。